

J-ALERTとEm-Net

平成28年2月7日、北朝鮮から「人工衛星」と称する弾道ミサイルが発射され、沖縄県の先島諸島上空を通過し、太平洋上に落下したと推定される事案がありました。

この際、内閣官房は、J-ALERT(全国瞬時警報システム)を活用して、弾道ミサイルの発射情報や通過情報を、沖縄県内の市町村の防災行政無線や緊急速報メール等により、関係のある地域の住民の方々に直接、音声などでお知らせしました。

また、それとあわせて、Em-Net(緊急情報ネットワークシステム)を利用して、全国の地方公共団体などの関係機関に緊急情報を文字情報で伝達しました。

このように我が国に影響があり得る弾道ミサイルが発射された場合は、J-ALERTやEm-Netによって発射情報と、通過した場合は通過情報等の緊急情報(万が一、領域内に落下する可能性がある場合は発射情報と、落下予測情報等)を伝達しますが、この際、防災行政無線については、特別なサイレン音を使用せず、市町村が通常使用しているサイレン音を使用する場合があります。

内閣官房は、武力攻撃事態や緊急対処事態等が発生した場合、J-ALERTとEm-Netを活用して、みなさんに緊急情報を提供いたします。

万が一、弾道ミサイルの着弾が予想される事態が発生した時には、安全のため、近隣の堅牢な建物や地下街などに速やかに避難してください。